

やまぎん県民ホール流 オペラビギナーズガイド

そもそもオペラって何？

ルネサンス後期の16世紀末にイタリアで生まれた、演劇と音楽でできている舞台芸術です。“舞台芸術”とは、音楽や演劇、文学・舞踊・美術など、さまざまな要素を融合させ、舞台上で表現する芸術のことを言います。バレエやサーカス、そして日本の歌舞伎や狂言も舞台芸術です。

オペラは“歌劇”とも呼ばれ、基本的にセリフや感情表現も、すべて歌で表現する点が大きな特徴です。同じように歌で感情を表現す

るミュージカルは、実はオペラの発展形。例外もありますが、一般的に歌によってドラマが進行するのがオペラ、ドラマの結果としての感情を歌に託すものがミュージカルと考えられています。

オペラの楽しみ方

役者の歌、マイクを通さない声量、生演奏のオーケストラ、そしてストーリーを楽しむことはもちろんですが、衣装やメイク、舞台装置にも注目してみてください。また違った角度でオペラを楽しむことができます。

ストーリーをすみずみまで楽しみたい場合は、

「一度くらいはオペラを観てみたい……けど、難しそうで、敷居も高そうで、どこから入ればいいのかわからない……」いやいや、実はオペラは難しいものではないんです。この特集を読めば、きっと疑問が解決して、実際にオペラを観てみたくなるかも。さあ、あなたもオペラ鑑賞デビューしてみませんか？

少し予習をしてみるとgood。国内公演では日本語の字幕が付きますが、あくまで“歌詞の日本語訳”のため、映画のように字幕を追いかけてながらストーリーを楽しむことは少し難しいかもしれません。ですが、よく上演される人気演目は、ほぼすべてとっていいほど恋愛を題材としており、難しい内容はほとんどありません。くだけていて笑える話も多く、気構えたと「なーんだ! (笑)」と思うかも。

ストーリー・内容を理解してから鑑賞すると、クスッと笑えるような小ネタを拾えたり、役者の歌への感情の込め方や演技、演出も相まって、思わずホロリと来てしまうことも……。その感動は、盛大な拍手でぜひ舞台へ伝えてください。

おすすめの作品が知りたい!

とはいえ、まったく聞きなれない外国語の歌を突然追いかけるのは難しいもの。実はオ

ペラに出てくる曲はCMやイメージソング、現代風にアレンジしたBGMなど多くに使用されているため、聞いたことのある曲が入っている作品から観るのはいかがでしょうか。いくつか有名な曲と作品をピックアップしてみました。きっと、どこかで聞いたことのある曲があるはず。

やまぎん県民ホールでは10月に『トゥーランドット』が上演されます。注目は何といっても、トリノオリンピック開会式やフィギュアスケートで使用された非常に有名なアリア「誰も寝てはならぬ」を日本を代表する歌手、福井敬さんが歌うこと。そして歌や演奏はもちろん、ダンスも大いに楽しめる部分でしょう。音楽・演劇・文学・美術、そして舞踊まで堪能できる公演はなかなかありません。間近で本物のオペラを体感するチャンスです。この機会に足を運んで、オペラ鑑賞デビューしましょう!

きっと耳にしたことのあるオペラの曲と作品

トリノオリンピックの開会式、フィギュアスケート

ブッチーニ作
『トゥーランドット』
誰も寝てはならぬ

長野オリンピックの開会式、JR九州特急「かもめ」

ブッチーニ作
『蝶々夫人』
ある晴れた日に

さまざまなCM・ドラマで使用されている

モーツァルト作
『魔笛』夜の女王のアリア
(復讐の心は地獄のように)

ビールのCMとしてよく使用される

ヴェルディ作
『椿姫』
乾杯の歌

サッカーの応援曲

ヴェルディ作
『アイダ』
凱旋行進曲

映画『地獄の黙示録』、CMなど

ワーグナー作
『ワルキューレ』
ワルキューレの騎行

結婚式の定番曲

ワーグナー作
『ローエングリン』
婚礼の合唱

CM、ドラマでよく使用される

ビゼー作
『カルメン』
第1幕への前奏曲

オペラのギモン解消コーナー



写真提供：
神奈川県民ホール
©Kiyotane Hayashi

左◎池田理代子『知識ゼロからのオペラ入門』(幻冬舎、2010)

右◎小瀬村幸子 訳/高崎保男 協力『オペラ対訳ライブラリー』ブッチーニ トゥーランドット』(音楽之友社、2001)

どうやって予習したらいいの？

最近はインターネットでも丁寧でやさしい解説してくれるサイトも増え、とても参考になりますが、書き込みができたり、当日手元に持って確認することができる書籍がビギナーにはおすすめ。中にはマンガやイラストを交えたものもあり、入門にはバッチリです。インターネットや書店、楽器店で購入することができます。

よく聞くけど“アリア”って何？

アリアは独唱(ソロ)のことで、いわゆるメインの聴きどころです。オペラには大きく4つの歌があります。「アリア(独唱曲)」「レチタティーヴォ(朗唱)」「アンサンブル(重唱)」「コーラス(合唱)。「レチタティーヴォ」は聞きなれないかもしれませんが、簡単に言うとセリフに近い歌唱です。「おはよう」「こんにちは」「ちょっと待つて」のようなセリフも、多くがレチタティーヴォで歌われます。

ドレスコードってあるの？

特にありません。ふだんの格好でOKです。ただ“オペラ鑑賞という非日常”を楽しむために着飾る方も多いため、少しオシャレしてみたいかでしょうか？ 具体的には“お食事会”“お呼ばれの席”程度がおすすめ。上着などで体温調節ができると、なお良しです。

拍手のタイミングがわからない!

基本的には「幕(大枠のシーン)が終わった時」「アリアを歌ったあと」「すべてが終わった時」ですが、指揮者の采配で拍手が鳴りかけていても進むケースもあります。あまり難しく考えず、周りに合わせればOKです。

オペラって何語で歌っているの？

イタリアで生まれた芸術なので、イタリア語のオペラが非常に有名ですが、ドイツ語・フランス語の作品も多くあり、主にこの3つの言語が主流となっています。英語や日本語のオペラもあります。



『アイダ』より

写真提供：神奈川県民ホール ©Kiyotane Hayashi